

## 新型コロナウイルス感染の判明について 第2報

7月16日（木曜）

表題の件につきまして、当院における経過と対応をご報告させていただきます。

その後の調査で、当該職員は発症2日前の7月8日に出勤し、1時間半後に帰宅させたことが判明いたしました。この間、患者様1名とマスクと手袋着用の上で10分以内の接触がありました。職員間では、濃厚接触に該当するものではありませんでした。

7月10日および11日に、医師1名を含む中6病棟職員25名全員のPCR検査を実施し、全て陰性の結果が出ております。

また、当該職員の発症4日前に濃厚接触のあった職員1名とその同居者1名に対し、7月11日にPCR検査を実施し、陰性の結果が出ております。

7月13日および14日に、中6病棟入院患者様48名全員のPCR検査を実施しました。7月8日に接触があった患者様を含めて、全て陰性の結果でした。

感染判明後、中6病棟職員は適切な个人防护具を着用して患者様に対応しております。さらに職員の更衣室、食事場所、トイレ等も、他の職員と動線が交わらぬように変更し、感染防止に努めております。

現在まで、中6病棟の職員と入院患者様全員に、発熱などの感染を疑う症状は認められておらず、引き続き健康観察を強化しております。

以上の経過から、現時点において院内での感染は認められておりません。

中6病棟はもとより病院全体の感染防御策を徹底し、外来・入院医療を従来どおり継続して参ります。

患者様、ご家族様、地域の皆様、関係者の皆様には大変なご心配をおかけしております。感染拡大防止に職員全員で努めて参りますので、何卒ご理解を頂けましよう、よろしくお願い申し上げます。

尚、当該職員は現在指定医療機関に入院して加療を受け、安定しております。

東京足立病院 院長